

伝えたい 残したい

20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

八坂神社の祭礼(祇園祭)

昭和32年(1957年)ごろ

牛久町の旧国道6号線沿いで撮影された八坂神社夏の祭礼の様子です。当時、祭礼は7月25日～27日にかけて行われ、神輿の前には露払いとして、神馬曳きが巡行しました。現在、祭礼は7月20日前後の土日に行われ、土曜日に神輿を神社からオカリヤ(御仮屋)に移し、翌日の午後、軽トラックに乗せて上町・下町・本町・駅前を巡行後、神社に戻ります。なお、写真の神輿は約50年を経た現在も受継がれ、今年も町内を巡行することです。



神馬曳き(現在では行われていない)



神輿の町内巡行の様子



「昔のうしく」の写真(とくに昭和40年代までの写真・東部地区の写真)を募集しています。

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

文芸さろん | 文月 |

| | |
|---|---|
| 恩師ゆく通夜の夜空は天の川 急ぐでも止まるでもなしかたつむり 初夏の風麦わらぼうし手でおさえ コウノ鳥巢の二羽の子初夏の空へ はらばいがかたつむり追うはだしの子 夏に入る若葉喜ぶ雨の音 夏蜜柑垣根にそひて香り受け 競走馬貴方の背に乗り故郷へ | 神田さん 我氏 山崎さん 岡村さん 倭文子 富美子 和多田さん 静枝 |
|---|---|

第43回 ガマズミ

レンプクソウ科の落葉広葉樹の低木。北海道西南部～九州に分布し、市内では斜面林下部や林縁等に自生しています。葉は対生で、表は濃緑色、裏は淡白緑色で、両面とも毛が密生し柄があり、葉身は長さ5～14cm、幅

①結実期の樹冠:田宮町斜面林(平成16年10月23日撮影)



②花序:牛久自然観察の森(平成19年5月31日撮影)、③果実:中央3丁目近隣公園(平成23年10月26日撮影)

3～13cmの倒卵形または円形、先はとがり、縁には鋸歯があります。開花期は4～6月、花は短い柄の先に一对の葉がある散房花序につき、白い小花を多数咲かせ、花冠は車状で、長さ5～8mmです(写真②)。果実は核果で、広卵形、径6～8mm、赤色に熟し、光沢があり、食べられます(写真③)。枝が折れにくいので、かつては刈柴(刈取った雑木)を束ねるのに使われました。
※牛久の里山樹木ハンドブック34ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。
【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:本田寛、写真:渡辺泰)

<次回募集テーマは「夏」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)